

北海道のがん患者さん支援の 充実に向けて

～がん治療とソーシャルワーク専門部会研修会 2023～



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト

導入

地域でがん患者さんにご家族を支えるために

帝京大学 医学部内科学講座 腫瘍内科

渡邊 清高

2023年1月24日
札幌@ウェビナー
ハイブリッド

北海道のがん患者さん支援の 充実に向けて

～がん治療とソーシャルワーク専門部会研修会 2023～

発表に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業等は以下の通りです。

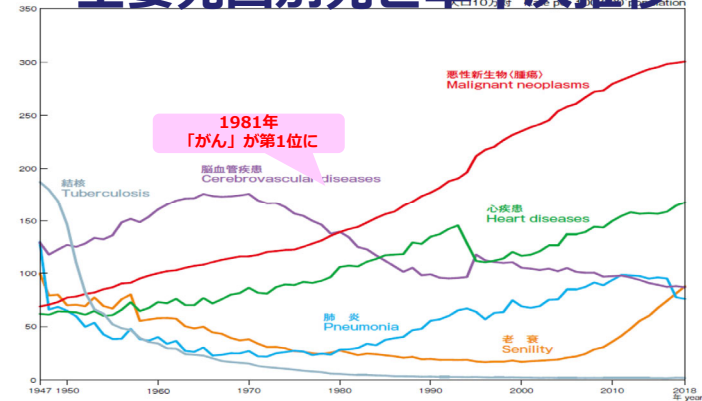
ファイザー株式会社
(プロジェクト助成)

北海道のがん患者さん支援の 充実に向けて

本日の研修会の目標

- # 1. 北海道のがん患者さんにご家族向けの**支援の現状と課題**を概説できる
- # 2. がん患者さんの**QOLの向上**と**支援の充実に向けた関わり**の事例を説明できる
- # 3. がん患者さんの支援に向けた**多職種チームアプローチの意義**を説明できる

主要死因別死亡率年次推移



年間**38万人**の方ががんで亡くなり、
1年間で**99万人**もの方が新たにがんと診断されています。

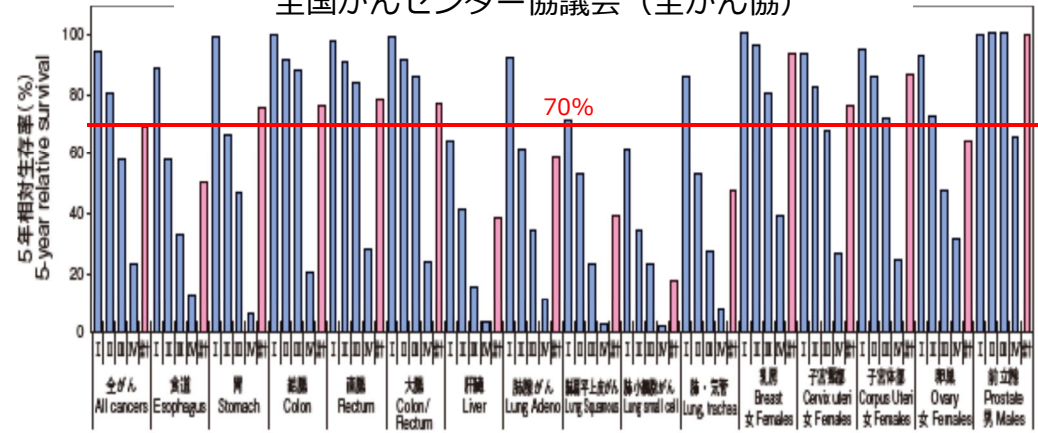
(死亡 2021年データ、罹患 2019年データ)

国立がん研究センターがん情報サービス

がん医療の進歩→ともに生きる社会へ

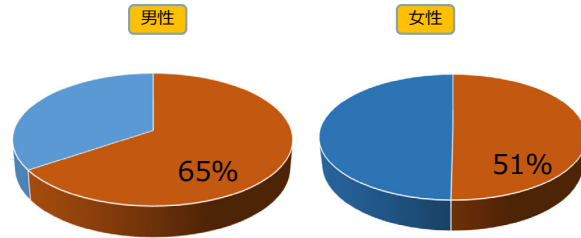
がんの5年生存率（2011-2013 診断治療症例）

全国がんセンター協議会（全がん協）



胃がん・大腸がん・乳がんは5年生存率が**70%**をこえている
がんの統計'22

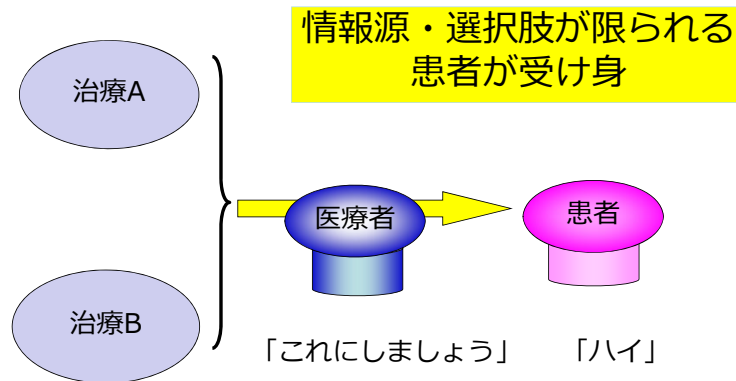
日本人の2人に1人ががんになる



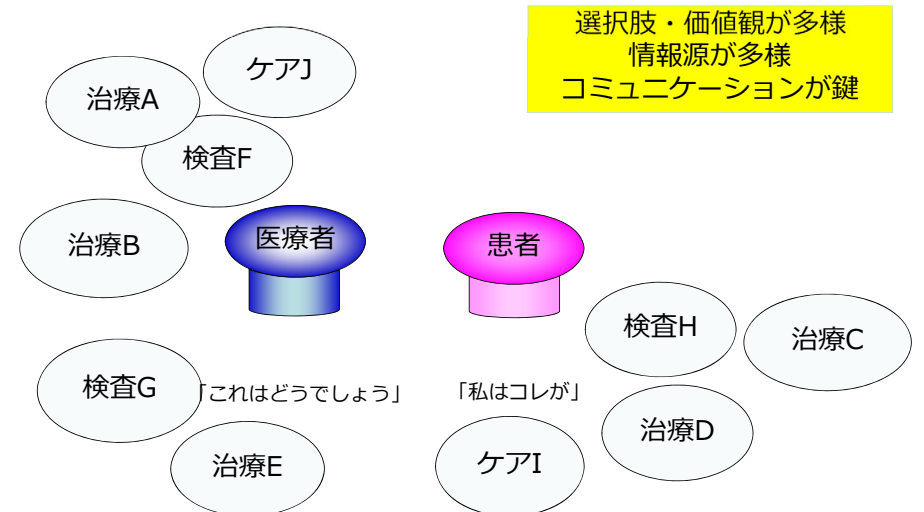
生涯でがんに罹患する確率 (2019年)

国立がん研究センター
がん対策情報センターによる推計値

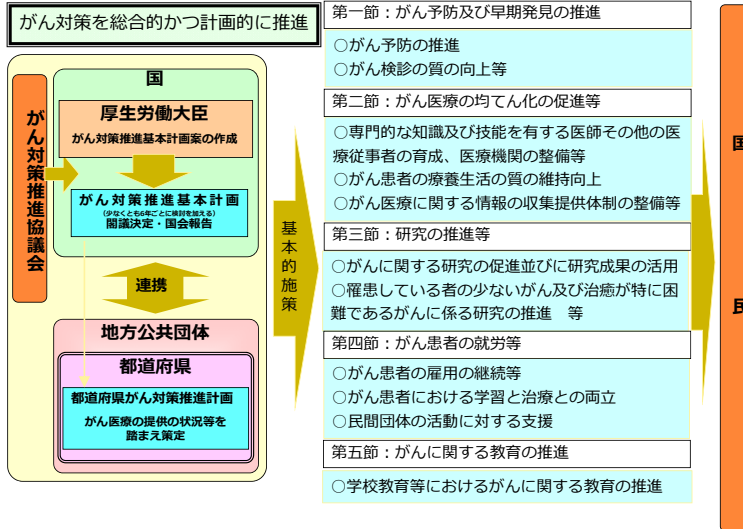
これまでの お任せ医療



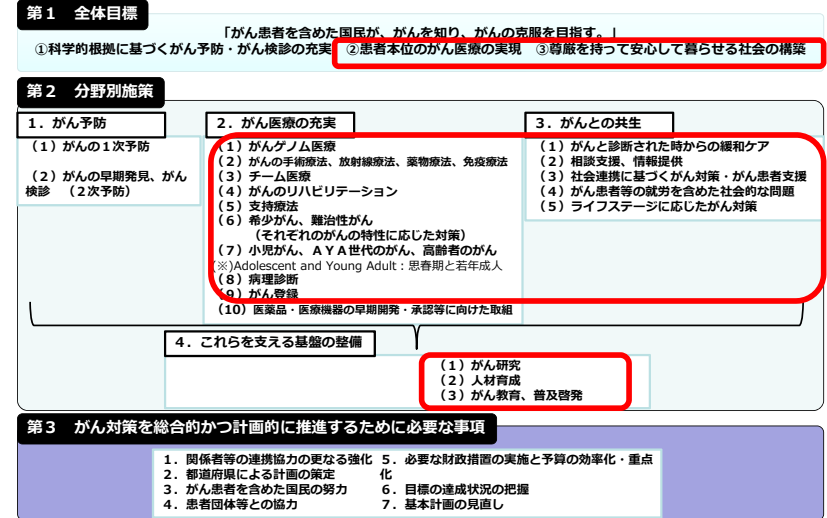
これからは「話し合う」医療とケア



がん対策基本法 (2007年4月施行、2016年12月改正・施行)



第3期がん対策推進基本計画 (概要) (2018年)



第3期 がん対策推進基本計画 (2018年3月)

- 第1 全体目標
 - 2 患者本位のがん医療の実現
 - 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
- 第2 分野別施策と個別目標
 - 2 患者本位のがん医療の実現
 - がんゲノム医療、手術療法・放射線療法・薬物療法および免疫療法、チーム医療、がんのリハビリテーション支持療法、希少がんおよび難治がん、小児がん・AYA世代・高齢者のがん対策、病理診断、がん登録
 - 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 - 診断された時からの緩和ケア、相談支援および情報提供、社会連携に基づくがん対策・がん患者支援

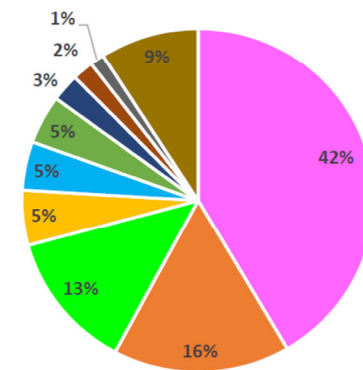
「がんとの共生」に向け、がん患者が**住み慣れた地域社会**で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境整備を目指す。そのためには、関係者等が、**医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野と連携**し、効率的な医療・福祉サービスの提供や、就労支援等を行う**仕組みを構築**することが求められている。

事前の登録ありがとうございました (1月16日時点)



参加者の属性

回答122件



- ソーシャルワーカー
- がん相談員
- 看護師/保健師/助産師
- 医師/歯科医師
- がん医療ネットワークナビゲーター
- 患者・一般
- 薬剤師
- ケアマネジャー
- 行政
- その他

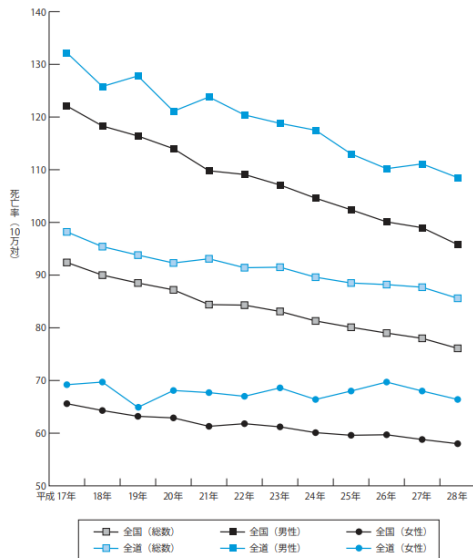
北海道のがん患者さん支援の充実に向けて
 ~がん治療とソーシャルワーク専門部会研修会 2023~

ご参加の皆さまからのコメント (1月16日時点)

- ・在宅療養は近年ニーズが高まっているので勉強したい
- ・患者やその家族がが取り巻く現況を把握したい
- ・小児がん/就労両立支援/在宅における栄養管理/グリーンケアに関心
- ・就労支援の実践例や行政・地域とのつながりの実践例を知りたい
- ・どのようにしてがん相談支援センターを市民に普及させていけば良いか
- ・道内でがん治療の為に長距離移動を伴う受診をされている方が有する、**通院に関する課題と対応**を知りたい
- ・多様な生き方多様な在り方を支えるために学び考えたい

北海道のがん患者さん支援の充実に向けて

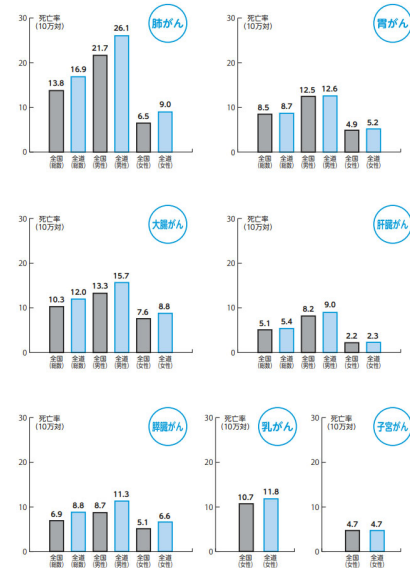
1. がん相談の現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて



がん年齢調整死亡率 (75歳未満) の推移

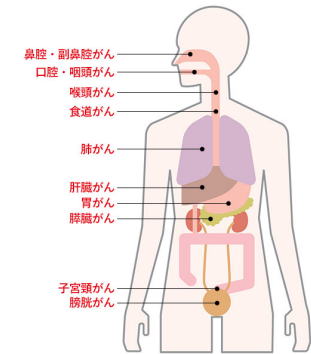
- ・全国的に減少傾向が持続している
- ・女性では横ばい/増加の年がある

北海道がん対策推進計画 (平成30年3月)



2016 (平成28) 年部別がん年齢調整死亡率 (75歳未満)

- ・喫煙関連がん (肺・胃・大腸・肝臓・膵臓など) は全国と比較して高い



北海道がん対策推進計画 (平成30年3月)
 喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書 2016年

北海道のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がん相談の現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて

「がん患者さんのQOL」を高めるには？



プロセスとアウトカムの比較

	プロセス (例：がん相談の対応件数)	アウトカム (例：QOLの向上)
調べられること	・プロセスが適切な方法で行われているか否か	・行った医療の結果（成果）
改善策との関係	・改善策と直結しやすい	・改善策と直結しにくい
患者・家族にとってのわかりやすさ	・理解しにくい	・理解しやすい ⇒患者や家族は「結果（アウトカム指標）」重視となりやすい

- 患者が受けたケアを反映
- 現場にとって公正で、受け入れられやすい
- 変化しやすい

- アウトカムを見るだけでは不完全
- 変化しにくい

「がん医療・ケア、がん相談の質」を見える化する



3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

1) 自分らしい日常生活を送ることができる

数値
70.5% [80.8%](※)
76.3%
成人：48.7% [57.6%](※) 小児：39.7%

2) 診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できた

3) 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分である

・患者体験調査では、自分らしい生活をおくることができていると感じる患者、相談できると感じる患者は増加している
 ・拠点病院のがん相談支援センター、地域統括相談支援センター、民間団体による相談窓口、がん情報サービスなどの活用を推進している

2018年度患者体験調査 2019年度小児患者体験調査

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(2) 相談支援及び情報提供

①相談支援

がん診断～治療開始前に 病気や療養生活について相談できた と感じるがん患者の割合	2018年度 76.3%	2014年度 67.4%
家族の悩みや負担を 相談できる支援が十分である と感じているがん患者・家族の割合	2018年度 成人：48.7% (補正值：57.6%) 2019年度 小児：39.7%	2014年度 成人：37.1%
がん相談支援センター/相談支援センター について 知っている がん患者・家族の割合	2018年度 成人：66.4% 2019年度 小児：66.4%	2014年度 成人：56.0%
ピア・サポーター について知っているがん患者の割合	2018年度 27.3%	

・利用したことがある人は、成人で14%、小児で35%
 ・「役に立った」と回答した人は8割を超える
 ・がん相談支援センターの相談支援従事者の研修の充実、説明・広報、利用の推進がなされている
 ・ピア・サポーターの研修の充実（研修企画・テキスト改訂・フォローアップ）がなされている

2018年度患者体験調査 2019年度小児患者体験調査

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

①緩和ケアの提供について

1) 療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている

数値
40.4%(痛み) 47.2%(からだの苦痛)
42.3%

2) 療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えている

・療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている患者（遺族調査）は4割

・終末期の痛みの原因についての調査、呼吸困難・せん妄等に関するアルゴリズムの開発に取り組んでいる
 ・緩和ケアに関する課題に対する必要な取り組みについて議論する

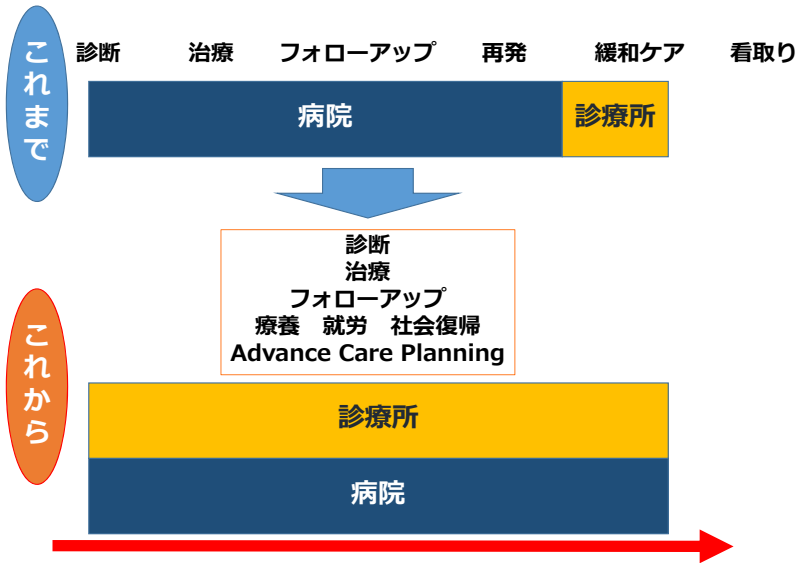
2018年度がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業

北海道のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がん相談の現状と多職種チームケア

2. 患者さんを支える地域連携とは

3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて



病院内チーム：手術、放射線治療、抗がん剤治療などのがん治療の急速な発展により、高度な集学的治療の提供が可能になる一方で、複数の専門職による関与が不可欠になりました。



地域医療チーム：一方、高齢化社会によるがん患者の増加、支持療法の進歩、患者のQOL重視の視点などから、がん治療は入院から外来にシフトしつつあるため、病院外の専門職の関わりが必要になってきています。



地域包括ケアチーム：さらには、生活者としての患者・家族を支えて治療を行う、看取りを含めたケアを住み慣れた環境で実現するための、介護福祉関係者、行政、市民を含めたチームという考え方も広がりつつあります。

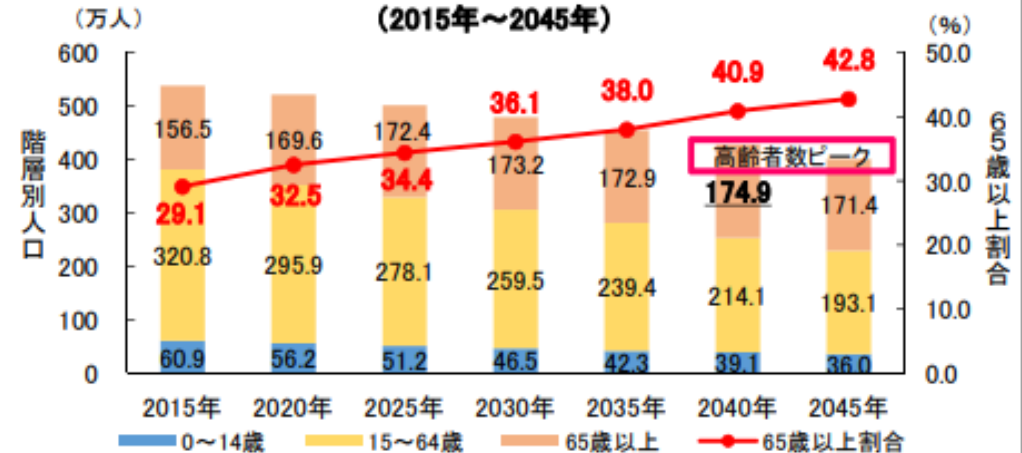
患者必携 がんになったら手にとるガイド 国立がん研究センター 2013

北海道 がんサポートハンドブック (2022年)



- ・北海道の「がんに関する相談窓口」情報
がん相談支援センター・拠点病院・指定病院
地域統括センター
- ・専門相談
就職支援、就労支援・両立支援、アピアランスケア、
口腔ケア、小児がん医療、がんゲノム医療
- ・緩和ケアに関する情報
緩和ケア、緩和ケア病棟を開設している病院
携拠点病院
- ・医療費・生活費・生活支援に関すること
治療費の負担軽減、生活費支援、療養生活支援
自己負担限度額、妊よう性温存療法研究促進事業
- ・臨床検査説明資料
- ・ピアサポートに関する情報
北海道がん患者連絡会、患者会と患者支援団体、サロン

北海道年齢階層別将来人口推計 (2015年～2045年)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」から北海道局作成
国土交通省 北海道局 (令和元年6月)

65歳 男性

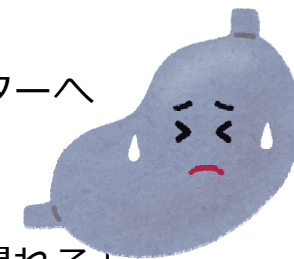


高血圧と高脂血症で治療中
健康診断では血圧が高いことと、
塩分を控える、たばこをやめる
よう言われている
ラーメン焼き、焼肉大好き



最近食欲がない
何となくお腹が重い感じがある

検査で異常あり 道がんセンターへ
胃がん 手術と抗がん剤治療



「大変だったけどこれで家に帰れる」
「一服したいし、しょっぱいのもそろそろ」



- ・ 検査と診断の流れ
- ・ 入院前の準備
- ・ 開腹手術による治療
- ・ 痛みのコントロールとリハビリ



- 立つ、歩く、運動する、体力をつける
- ・ 後遺症の予防とケア
減塩食・卒煙（禁煙治療）
- ・ ストレスコントロール
- ・ 退院後のリハビリへの移行



治療前

- ・ 病状・治療の理解・治療選択の支援
- ・ 事前のリスク評価
- ・ 適切なセルフケア/家族ケアの提案



治療中

- ・ 入院前説明
- ・ 治療中の注意事項
- ・ 副作用・後遺症のモニタリング

フォローアップ

- ・ 後遺症の予防とケア
- ・ 在宅での服薬管理・家族支援
- ・ 生活面・経済面での相談
- ・ 心理面・精神面の支援

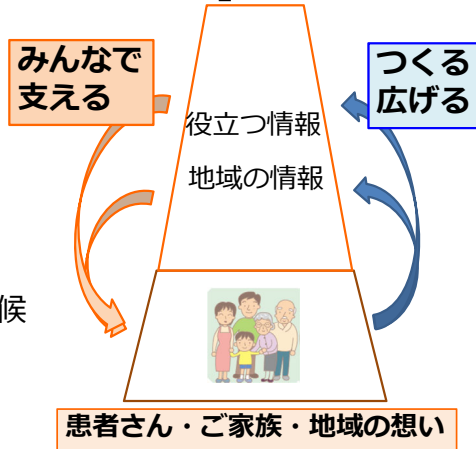


地域で支える、新しい医療のかたち

「情報をつくる」→「つながる」→「みんなで支える」

在宅医療
緩和ケア
地域の医療・療養資源
独自の社会支援制度
患者会・患者支援団体

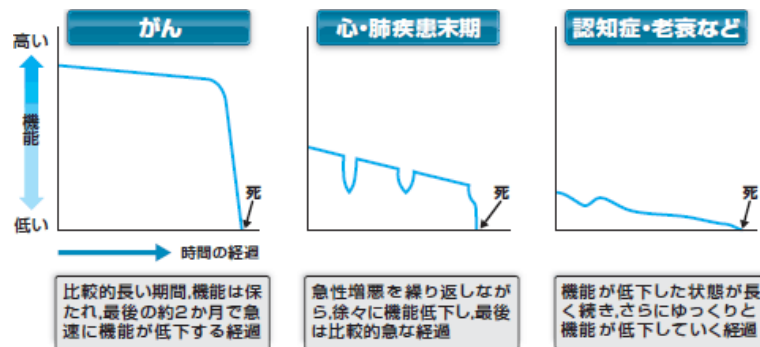
歴史・風土・文化・気候
家族観・人生観



北海道のがん患者さん支援の充実に向けて

1. がん相談の現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて

疾患群別予後予測モデル



Lynn, Living Well at the End of Life 2003より

アドバンス・ケア・プランニングについて

賛成である	64%
よく知っている	3%
聞いたことはあるがよく知らない	19%
知らない	75%

人生の最終段階における医療について 家族等や医療介護関係者との話し合い

詳しく話し合っている **2%**

一応話し合っている **36%** (男性30%、女性45%)

話し合ったことがない理由

きっかけがない	56%
必要性を感じていない	27%
知識がない	22%
話したくない	5%

話し合うきっかけ

家族の病気や死、自分の病気、メディア、医療者

平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

死が近い場合の医療・療養を考える ために得たいと情報

医療	53%
施設・サービス	51%
意思の伝え方・残し方	41%
相談・サポート体制	39%
心身の状態の変化	26%
知りたくない	6%

平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

どこで最期を迎えたいかを考える際に、 重要だと思うこと

家族に負担にならない	73%
体や心の苦痛なく過ごせる	57%
経済的な負担が少ない	55%
自分らしくいられる	46%
家族との十分な時間を過ごせる	41%
信頼できる医師・看護師・介護職員に みてもらう	38%
人間としての尊厳を保てる	34%

平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

患者さんご家族をつなぐ在宅療養ガイド

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/> **がんの在宅療養**

当院におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクト

HOME 在宅療養ガイド 活動・フォーラム

みんなで支える チームで支える

「がんの在宅療養」サイトは在宅療養に関する情報をがん患者さんのご家族、医療従事者、介護・福祉スタッフ向けに提供しています

必要などころから読む

- 第1章 在宅での療養を始める
- 第2章 「最期のとき」に向き合うこと
- 第3章 人生の最期をともに生きる
- 第4章 お別れの時期

ご家族のためのがん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド Home Care Guide PDF版公開 html版は毎日公開予定です ぜんぶ読む

がん医療フォーラム 仙台 2015

2015年公開 全文を無料で閲覧可能 全国のがん診療連携拠点病院に見本版を提供 2016年書籍化 2022-23年改訂プロジェクト

「がんの在宅療養」をテーマとしたフォーラムと研修会と成果発信



- ・対象と目的が明確
- ・関係者の参画と独立性担保
- ・作成プロセスと合意形成
- ・わかりやすさ、患者・当事者の視点
- ・利用者による研修会・説明会の試行

さまざまな連携：
 がん拠点病院・県・患者団体
 学会・企業・メディアなど
実行可能性を広げる：
 標準化した情報提供・共有
 患者・市民フォーラム
 専門職向け研修会
成果物イメージ：
 トピック・地域ごと提示
 協働に向けた提案

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

在宅療養を支える家族向けの情報

内容についての意見

- ・患者本人とのコミュニケーションの取り方がわかる
- ・家族のケアのやり方、最期のときの様子がわかる
- ・気持ちが動転しているときに、大変役立つ内容
- ・心の準備ができる、気持ちの余裕を取り戻せる

届け方についての提案

- ・手に取るタイミングが非常に重要。自他ともに受けとめる時期が良いのでは。
- ・病院、在宅医、訪問看護ステーション、薬局など、目に触れる機会を増やすことが大切。

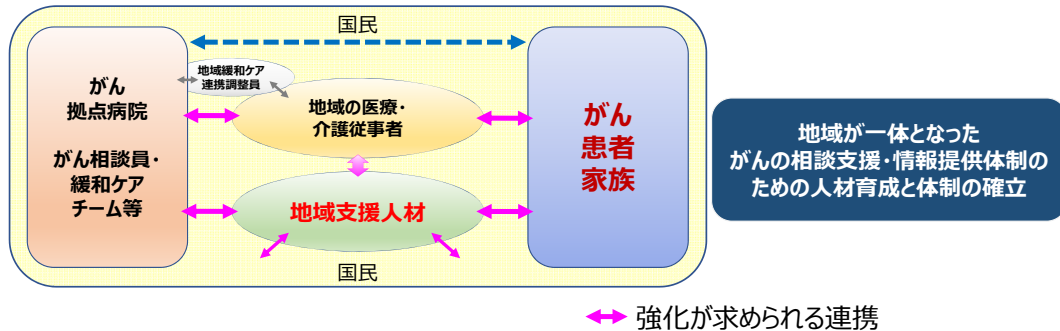
<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

地域における相談支援活性化人材の育成の例

がん医療ネットワークナビゲーター（日本癌治療学会）



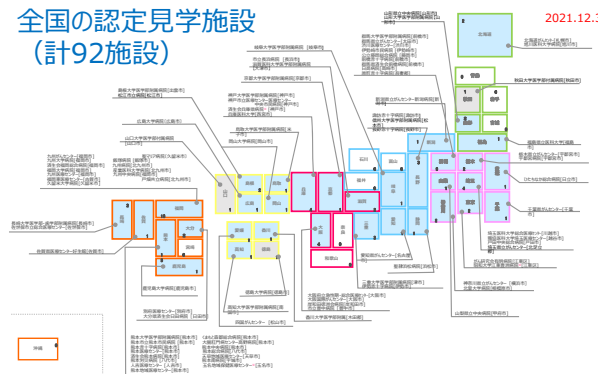
がん相談員を支援する（外部の）人材を育成



ナビゲーター養成状況

- ・シニアナビゲーター認定者 94名
- ・ナビゲーター認定者 647名

全国の認定見学施設 (計92施設)



20211231navi		20211231 Sr.navi	
都道府県	navi	都道府県	navi
北海道	33	北海道	10
青森県	8	秋田県	1
宮城県	1	山形県	1
秋田県	13	福島県	1
山形県	4	群馬県	10
福島県	7	埼玉県	5
茨城県	3	東京都	4
栃木県	3	神奈川県	3
群馬県	16	山形県	1
埼玉県	13	新潟県	1
千葉県	8	岐阜県	2
東京都	48	静岡県	1
神奈川県	14	愛知県	2
新潟県	5	三重県	3
石川県	1	滋賀県	3
福井県	1	京都府	2
岐阜県	5	大阪府	4
静岡県	11	兵庫県	3
愛知県	10	岡山県	2
三重県	6	広島県	3
滋賀県	3	徳島県	1
		愛媛県	1
		高知県	1
		福岡県	11
		佐賀県	1
		熊本県	15
		大分県	2
合計	625		93



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト

#まるコラボ

がん患者のための多職種チームケアと 地域医療連携を推進するプロジェクト

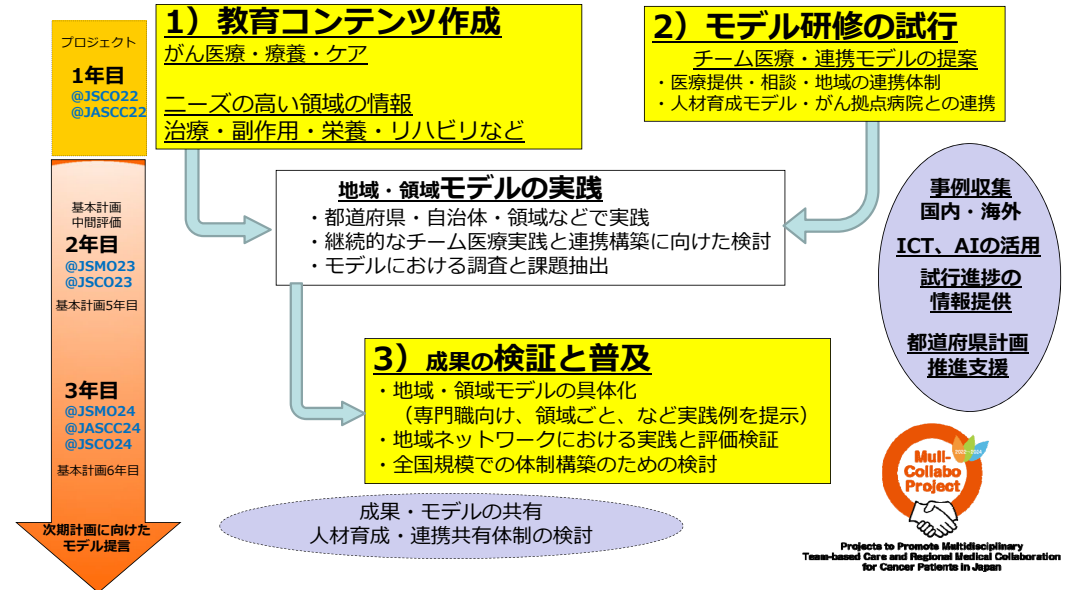
地域におけるがん医療の環境を踏まえ、**チーム医療を推進・向上させ、地域医療連携のもとで質の高い患者ケアを実現**することを目的として**教育研修プログラムを開発し提示**します。

がん治療とケアを患者に**確実に届ける**ことで、**より良いアウトカムにつなげる**ことを目指します。

日本癌治療学会/ファイザー-医学教育助成金
「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」



一般社団法人
日本がんサポーターケア学会
Japanese Association of Supportive Care in Cancer



本日の研修会の目標

- # 1. 北海道のがん患者さんご家族向けの**支援の現状と課題**を概説できる
- # 2. **がん患者さんのQOLの向上と支援の充実**に向けた関わりの事例を説明できる
- # 3. がん患者さんの支援に向けた**多職種チームアプローチの意義**を説明できる

“北海道のがん患者さん支援の充実” に向けて

地域で「考えよう」
「話し合おう」
「伝えよう」

どんなテーマ?
最新の治療
副作用管理
支持医療..

どのように?
講演会
グループワーク
症例検討会..

どこで?
市町域
道内広域
コミュニティ..

終了後のアンケートにご協力ください

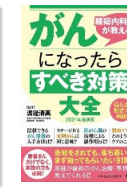
- ・ 職種、相談経験など
- ・ がん患者支援の現状
- ・ 本日の感想、ご意見
- ・ チーム医療と地域連携の推進に向けたご提案

ウェビナーご参加の方は
終了後にページが開きます



ご清聴ありがとうございました

がんを知り
がんと向き合い
がんになっても安心して暮らせる社会づくりを



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト